

ロイヤルエアポートサービス株式会社



2015 年度 環境活動レポート

(2015年3月～2016年2月)



作成日: 2016年4月1日
更新日: 2016年4月10日



環境方針

<環境理念>

ロイヤルエアポートサービス株式会社は、年々深刻化している地球温暖化や地下資源の枯渇問題が、地球に住む人類共通の重要課題であるとの認識に立ち、当社の事業であるビルメンテナンスを通じて、省エネルギーや再資源活化動等に積極的に取り組み、泉佐野市を中心とした地域の環境保全活動の一翼を担うことで、将来の低炭素・循環型社会による接続可能な社会の実現に貢献いたします。

1. 事業活動にかかわる環境関連の法規・条例及び当社が約束した要求事項を遵守します。
2. 当社のすべての事業活動において環境に与える負荷を削減するため、次の事項に重点的に取り組みます。
 - ①温暖化防止のため、二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)
 - ②資源の有効活用のため、廃棄物の削減及び再資源化(循環型社会への対応)
 - ③水資源の有効活用のため、排水量の削減(水資源の保全)
 - ④環境に悪影響を与える成分をカットしたビルメンテナンス及び製品販売の促進
(メイン業務の環境対応)
 - ⑤資器材・消耗品に環境負荷の低い商品を導入する(グリーン購入)
 - ⑥地球環境保全のため、社会貢献(地域での環境活動への積極参加)
3. 環境目標・活動計画を定め、見直しを行い、継続的な改善に努めます。
4. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。
5. この環境方針を、全従業員に周知します。

制定日：2008年10月1日

改定日：2011年5月21日

ロイヤルエアポートサービス株式会社
代表取締役 荒木 周

□登録事業所の概要

- (1) 事業所名及び代表者名
ロイヤルエアポートサービス株式会社
代表取締役 荒木 周
- (2) 所在地
本社:大阪府泉佐野市下瓦屋157-8
関空営業所:大阪府泉南郡田尻町泉州空港中1航空ビル2F-E20
東京営業所:東京都中央区八重洲1-9-13八重洲駅前合同ビル6F
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 取締役 木下 泰輔 TEL:080-2483-0498
担当者 総務部 清原幸江 TEL:072-469-5485
- (4) 事業内容(認証・登録の範囲)
ビルメンテナンス及び省エネ設備の販売
- (5) 事業の規模
製品出荷額 **20,060万円**

	本社	関空営業所
従業員	3名	42名
延べ床面積	93㎡	65㎡

- (6) 事業年度 3月～2月

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2007年度 (基準年度)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
二酸化炭素排出量 (対象:エネルギー総量)	kg-CO ₂ /年	20,089	15,126	11,545	10,461	9,913
一般廃棄物量排出量	Kg/年	1,482	1,413	1,219	1,380	1,280
総排水量	m ³ /年	51	42	25	21	24

(注)産業廃棄物はありません。

□環境目標及びその実績

項目	年度	2007年度	2015年度 (2015/03～2016/02)		2016年度	2017年度
		(基準年度)	(目標) 基準年度比	(実績) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の二酸化炭素排出量 削減	(kg-CO ₂)	3,101 (2008年度)	3,008 97.0%	2,059 68.5%	3,008 97.0%	3,008 97.0%
ガソリンの二酸化炭素排出 量削減	(kg-CO ₂)	19,795	15,836 80.0%	7,854 49.6%	15,836 80.0%	15,836 80.0%
二酸化炭素排出量合計	(kg-CO ₂)	21,398	18,844	9,913	18,844	18,844
一般廃棄物の削減	(Kg/年)	1,800	1,584 88.0%	1,280 80.8%	1,584 88.0%	1,584 88.0%
水道水の削減	(m ³ /年)	51	49 96.1%	24 49.0%	49 96.0%	49 96.0%
環境に配慮した製品の販売	(件/年)	3件以上 (2011年度)	5件以上	0点	年5件以上	年5件以上
グリーン購入	(点数/月)	10点以上 (2010年度)	15件以上	26点	毎月16点 以上	毎月17点 以上
地域環境保全活動	(回数/月)	8回以上 (2008年度)	8回以上	8回	毎月8回 以上	毎月8回 以上

(注)産業廃棄物はありません。

(注)電力の二酸化炭素排出係数は0.378(kg-CO₂/kwh)を使用

□環境活動の取り組み計画と評価

取り組み計画	達成状況		単位 基準年度比 目標比	評価(結果と今後の方向)
	基準年度	実績		
電力の削減 ●省エネ目標の説明 ●節電運動展開(不要照明の消灯) ●クールビズ運動(ノーネクタイの奨励) ●空調機の冷房28℃ 暖房22℃ ●未使用電気製品の電源オフ ●閑空事務所においても上記の運動を実施する ●クリーンエネルギーの創出	基準年度	3,101	kg-CO2	○目標達成
	目標	3,008	97.0%	1月、2月は入札資料の作成などで、残業や休日出勤が多くなりましたが、すべての月で目標を達成することができ、前年度よりも節電することができました。次年度以降もこの調子で節電に努めます。
	実績	2,059	68.5%	
自動車燃料の削減 ●アイドリングストップ(エコドライブシールの貼付) ●急加速・急停車防止(エコドライブシールの貼付) ●冷暖房の控え目使用(冷房28℃ 暖房22℃) ●車両運行記録簿により走行距離を記録 ●公共交通機関利用の奨励 ●ハイブリッド車の購入(買換え時) 軽油 2.62kg-CO2/L	基準年度	19,795	kg-CO2	○目標達成
	目標	15,836	80.0%	わずかですが前年度よりもガソリン使用量を削減し、目標を達成することができました。10月のN-BOX購入により、エコカーが2台となりましたので、移動の際はエコカー優先で、荷物がなければ電車での移動を徹底していきたいと思えます。
	実績	7,854	49.6%	
一般廃棄物の削減 ●一般廃棄物削減目標説明 ●ミスコピーの防止 ●帳票見直しによる印刷物の削減(電子ファイル化) ●FAX用紙の削減(PC-FAXを使用)	基準年度	1,800	kg	○目標達成
	目標	1,584	88.0%	例年通り、1月、2月は入札書類のコピー等で大量の紙の廃棄物が出ますが、目標はクリアできました。
	実績	1,280	80.8%	
水道水の削減 ●水道水削減目標説明 ●トイレ節水弁取り付け	基準年度	51.0	m ³	○目標達成
	目標	49.0	96.0%	年間を通して目標を達成できました。基本料金内で収まるように継続していきます。
	実績	24.0	49.0%	
環境に配慮した製品の販売 ●電子プレーカーの販売促進 ●インバータ制御盤の販売促進 ●LEDの販売促進	基準年度	3件以上	件	●達成できなかった
	目標	5件以上	166.7%	本業の関西国際空港の清掃業務が忙しく、今年度はほとんど、省エネ機器の営業活動を行うことができませんでした。営業活動についてはしばらく休止したいと思います。
	実績	0点		
グリーン購入 ●印刷・情報用紙のグリーン購入 ●トイレトーパーのグリーン購入 ●文具・事務用品のグリーン購入 ●自動車のグリーン購入(5月予定) ※毎月11点以上のグリーン購入を行う	基準年度	10点以上	点数	○目標達成
	目標	15点以上	150.0%	目標を達成できています。文具類、清掃資機材の類はグリーン購入を優先しています。
	実績	26点	171.1%	
地域環境保全活動 ●地域ゴミ置き場の清掃(週2回) ●天神祭清掃ボランティアへの参加(毎年7月)	基準年度	8回以上	回数	○目標達成
	目標	8回以上	100%	週2回の清掃活動は達成できた。ボランティアに積極的に参加できた。
	実績	9回	108.3%	

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	順守状況
廃棄物処理法	・一般廃棄物・事業活動に伴って生じた廃棄物	○
泉佐野市一般廃棄物処理計画	・泉佐野市環境衛生課 一般廃棄物処理マニュアルの確認	○
自動車リサイクル法	・営業用乗用車	○
家電リサイクル法	・エアコン・テレビ・洗濯機・冷蔵庫	○
建築物衛生法	・業務受託先の管理項目	○
浄化槽法	・浄化槽	○
フロン排出抑制法	・空調機	○
労働安全衛生法	・備付書類の整備・届け出・法令遵守	○
警備業法	・備付書類の整備・届け出・法令遵守	○
派遣業法	・備付書類の整備・届け出・法令遵守	○
消防法	・消火器	○

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の違反はありませんでした。

また、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は、過去3年間ありません。

□地域環境保全活動を紹介

1. 地域ゴミ置き場の清掃(毎週火曜・金曜)

(参加者:荒木周 中川江理子 木下泰輔 清原幸恵 の4名)



□代表者による全体の評価と見直し

関空利用者は過去最高の外国人旅客数を大幅に更新。しかしながら国内の中小企業の景気はまだまだ回復におは及んでいない。ビルメンテナンス業界も品質確保を強く要求される傾向にあるが、それに伴うコストが確保されないという矛盾を抱えたままである。サービス業全体における求人難もオリンピックまで続きそうである。今期も人件費のコスト削減は実施せず、運用におけるコスト削減を知恵を出して実施していきたい。エネルギーの使用削減を目標とするECOアクション21は運用方法を改善することでコスト削減を行う良いツールである。引き続き継続してエネルギーコストの削減に努めていく。

□次回環境活動レポート発行予定日

2017年4月発行予定です。